

漢文「再読文字」識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

再読文字は、一つの漢字を一文の中で二度読む特別な字です。一度目は副詞として（字の右の送り仮名）、二度目は返り点（字の左のレ点）で返って動詞・助動詞として読みます。覚えるのは次の7グループ（9字）だけ。縦書きの漢文を読んで、ア～エから選びましょう。

文字	一度目 → 二度目	意味
未	いまダ → ず	まだ…ない
将・且	まさニ → ントす	今にも…しようとする
当・応	まさニ → ベシ	当然…すべき／きっと…だろう
須	すべからク → ベシ	ぜひ…する必要がある
宜	よろしく → ベシ	…するのがよい
猶・由	なホ → ごとし	ちょうど…のようだ
盍	なんゾ → ざル	どうして…しないのか

コツ：「べし」で結ぶ3グループ（当応・須・宜）は、一度目の読み（まさニ／すべからく／よろしく）で見分ける。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

意味 Q1. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未 | ダ
知 | ラ
。

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ ちょうど…のようだ

エ ぜひ…する必要がある

▶ 答え：ア 「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ知らず」。「まだ知らない」。

読み方 Q2. 傍線部「将」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 将 | ニ
行 | カ
。

ア すべからく

イ まさに

ウ よろしく

▶ 答え：イ 「将」は一度目「まさニ」、二度目「(せ)ントす」。書き下し「将に行かんとす」。「今にも行こうとする」。

意味 Q3. 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選び。

レ 当 | ニ
学 | バ
。

ア まだ…ない

イ どうして…しないのか

ウ 当然…すべきだ

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ウ 「当」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「当に学ぶべし」。「当然学ぶべきだ」。

読み方 Q4. 傍線部「須」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 須 勉
ラク
メ

ア すべからく

イ まさに

ウ なんぞ

▶ 答え：ア 「須」は一度目「すべからく」、二度目「ベシ」。書き下し「須らく勉むべし」。「ぜひ努める必要がある」。

意味 Q5. 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選び。

レ 猶 夢
ホ
ノ

ア ちょうど…のようだ

イ まだ…ない

ウ 当然…すべきだ

エ 今にも…しようとする

▶ 答え：ア 「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ夢のごとし」。「ちょうど夢のようだ」。

読み方

Q6. 傍線部「宜」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 宜 徒
シク
ハ

ア まさに

イ すべからく

ウ よろしく

▶ 答え：ウ 「宜」は一度目「よろしく」、二度目「ベシ」。書き下し「宜しく従ふべし」。「従うのがよい」。

意味

Q7. 次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選び。

レ 盍 学
ゾ
バ

ア まだ…ない

イ ちょうど…のようだ

ウ どうして…しないのか

エ …するのがよい

▶ 答え：ウ 「盍」は一度目「なんゾ」、二度目「ざる」。書き下し「盍ぞ学ばざる」。「どうして学ばないのか」。「盍」は「何不」をまとめた字。

現代語訳

Q8. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 未 来
ダ
タ
ラ

ア 今にも来ようとしている

イ まだ来ていない

ウ 来るにちがいない

▶ 答え：イ 「未だ来たらず」。「未」は「まだ…ない」。

読み方 Q9. 傍線部「未」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 未^ダ
成^ラ。

ア ベシ

イ ごとし

ウ ず

▶ 答え：ウ 「未」の二度目は「ず」。書き下し「未だ成らず」。「まだ成し遂げていない」。

意味 Q10. 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選び。

レ 応^ニ
知^ル。

ア まだ…ない

イ きっと…だろう

ウ ぜひ…する必要がある

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「応」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「応に知るべし」。「きっと知っているだろう」。

書き下し Q11. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 将 | ニ
死 | セ
。

ア 将に死すべし

イ 将に死せんとす

ウ 将に死なず

▶ 答え：イ 「将」は「まさニ…(せ)ントす」。「今にも死のうとする」。

読み方 Q12. 傍線部「盍」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 盍 | ズ
帰 | ラ
。

ア まさに

イ なほ

ウ なんぞ

▶ 答え：ウ 「盍」は一度目「なんゾ」、二度目「ざる」。書き下し「盍ぞ帰らざる」。「どうして帰らないのか」。

意味 Q13. 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選び。

レ 須 | ラク
待 | タ
。

ア ぜひ…する必要がある

イ …するのがよい

ウ 今にも…しようとする

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア 「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく待つべし」。「ぜひ待つ必要がある」。

現代語訳 Q14. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 宜^{シク}休^マ。

ア まだ休んでいない

イ 休むのがよい

ウ どうして休まないのか

▶ 答え：イ 「宜しく休むべし」。「宜」は「…するのがよい」。

意味 Q15. 次の漢文の傍線部「且」の意味として正しいものを選び。

レ 且^ニ尽^キ。

ア まだ…ない

イ 当然…すべきだ

ウ 今にも…しようとする

エ …するのがよい

▶ 答え：ウ 「且」は「將」と同じく「まさニ…ントす」。書き下し「且に尽きんとす」。「今にも尽きようとする」。

読み方 Q16. 傍線部「猶」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 猶 | ホ
水 | ノ
。

ア ごとし

イ ず

ウ ベし

▶ 答え：ア 「猶」の二度目は「ごとし」。書き下し「猶ほ水のごとし」。「ちょうど水のようにだ」。

書き下し Q17. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 当 | ニ
報 | イ
。

ア 当に報いんとす

イ 当に報ゆべし

ウ 当に報いず

▶ 答え：イ 「当」は「まさニ…ベシ」。「当然恩に報いるべきだ」。

意味 Q18. 次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選び。

レ 宜 | シク
読 | マ
。

ア ぜひ…する必要がある

イ …するのがよい

ウ まだ…ない

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「宜」は「よろしく…ベシ」。書き下し「宜しく読むべし」。「読むのがよい」。

現代語訳 Q19. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 猶 | ホ
子。ノ

ア ちょうど我が子のようだ

イ まだ子ではない

ウ 子であるべきだ

▶ 答え：ア 「猶ほ子のごとし」。「猶」は「ちょうど…のようだ」。

読み方 Q20. 傍線部「当」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 当 | ニ
守。ル

ア すべからく

イ まさに

ウ よろしく

▶ 答え：イ 「当」は一度目「まさニ」、二度目「ベシ」。書き下し「当に守るべし」。「当然守るべきだ」。

意味 Q21. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未 | ダ
見。ミ

ア まだ…ない

イ ちょうど…のようだ

ウ 今にも…しようとする

エ …するのがよい

▶ 答え：ア 「未だ見ず」。「未」は「まだ…ない」。

読み方 Q22. 傍線部「将」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 将^ニ出^デ。

ア んとす

イ ベし

ウ ず

▶ 答え：ア 「将」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「将に出でんとす」。「今にも出ようとする」。

書き下し Q23. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 須^{ラク}惜^シ。

ア 須らく惜しまんとす

イ 須らく惜しむべし

ウ 須らく惜しまず

▶ 答え：イ 「須」は「すべからク…ベシ」。「ぜひ惜しむ必要がある」。

意味 Q24. 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選び。

レ 応 | ニ
咲 | カ
。

ア まだ…ない

イ どうして…しないのか

ウ ぜひ…する必要がある

エ きっと…だろう

▶ 答え：エ 「応」は「まさニ…ベシ」。書き下し「応に咲くべし」。「きっと咲くだろう」。

現代語訳 Q25. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 盍 | ゾ
行 | ハ
。

ア どうして行わないのか

イ まだ行っていない

ウ ぜひ行う必要がある

▶ 答え：ア 「盍ぞ行はざる」。「盍」は「どうして…しないのか」。

読み方 Q26. 傍線部「未」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 未 | ダ
至 | ラ
。

ア まさに

イ いまだ

ウ なほ

▶ 答え：イ 「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ至らず」。「まだ到着していない」。

意味 Q27. 次の漢文の傍線部「由」の意味として正しいものを選び。

レ 由_ホ
水_ノ
。

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ ちょうど…のようだ

エ 当然…すべきだ

▶ 答え：ウ 「由」は「猶」と同じく「なほ…ごとし」。書き下し「由ほ水のごとし」。「ちょうど水のようだ」。

書き下し Q28. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 当_ニ
勉_メ
。

ア 当に勉むべし

イ 当に勉めんとす

ウ 当に勉めず

▶ 答え：ア 「当」は「まきニ…ベシ」。「当然努めるべきだ」。

読み方 Q29. 傍線部「須」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 須 慎。 ラク マ

ア んとす

イ ベし

ウ ごとし

▶ 答え：イ 「須」の二度目は「ベシ」。書き下し「須らく慎むべし」。「ぜひ慎む必要がある」。

意味 Q30. 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選び。

レ 将 暮。 ニ レ

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ ちょうど…のようだ

エ ぜひ…する必要がある

▶ 答え：イ 「将」は「まさニ…ントす」。書き下し「将に暮れんとす」。「今にも日が暮れようとする」。

現代語訳 Q31. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 当 行。 ニ フ

ア 当然行うべきだ

イ 今にも行おうとする

ウ まだ行っていない

▶ 答え：ア 「当に行ふべし」。「当」は「当然…すべきだ」。

読み方 Q32. 傍線部「宜」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 宜^{シク}省^ミ。

ア ず

イ べし

ウ んとす

▶ 答え：イ 「宜」の二度目は「ベシ」。書き下し「宜しく省みるべし」。「反省するのがよい」。

意味 Q33. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未^ダ足^ラ。

ア まだ…ない

イ 当然…すべきだ

ウ どうして…しないのか

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア 「未だ足らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ足りない」。

書き下し Q34. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 盍^ゾ
言^ハ
。

ア 盍ぞ言はざる

イ 盍ぞ言ふべし

ウ 盍ぞ言はんとす

▶ 答え：ア 「盍」は「なんゾ…ざル」。「どうして言わないのか」。

意味 Q35. 次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選び。

レ 宜^{シク}
学^バ
。

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ …するのがよい

エ きっと…だろう

▶ 答え：ウ 「宜」は「よろしく…ベシ」。書き下し「宜しく学ぶべし」。「学ぶのがよい」。

読み方 Q36. 傍線部「應」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 應^ニ
至^ル
。

ア すべからく

イ なほ

ウ まさに

▶ 答え：ウ 「応」は一度目「まさに」、二度目「ベシ」。書き下し「応に至るべし」。「きっと至るだろう」。

意味 Q37. 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選び。

レ 猶^ホ雲^ノ。

ア ちょうど…のようだ

イ まだ…ない

ウ ぜひ…する必要がある

エ 当然…すべきだ

▶ 答え：ア 「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ雲のごとし」。「ちょうど雲のようだ」。

現代語訳 Q38. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 須^{ラク}努^メ。

ア 努めるのがよい

イ ぜひ努める必要がある

ウ 今にも努めようとする

▶ 答え：イ 「須らく努むべし」。「須」は「ぜひ…する必要がある」。「宜（よろしく）」との違いに注意。

読み方 Q39. 傍線部「且」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 且 | ニ
倒。 レ

ア ベし

イ ざる

ウ んとす

▶ 答え：ウ 「且」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「且に倒れんとす」。「今にも倒れようとする」。

意味 Q40. 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選び。

レ 当 | ニ
慎。 マ

ア ぜひ…する必要がある

イ まだ…ない

ウ ちょうど…のようだ

エ 当然…すべきだ

▶ 答え：エ 「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に慎むべし」。「当然慎むべきだ」。

書き下し Q41. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 未 | ダ
決。 セ

ア 未だ決すべし

イ 未だ決せず

ウ 未だ決せんとなす

▶ 答え：イ 「未」は「いまダ…ず」。「まだ決まっていない」。

意味 Q42. 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。

レ 須^{ラク}学^バ。

ア …するのがよい

イ ぜひ…する必要がある

ウ まだ…ない

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく学ぶべし」。「ぜひ学ぶ必要がある」。

読み方 Q43. 傍線部「未」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選べ。

レ 未^ダ聞^カ。

ア ず

イ べし

ウ んとなす

▶ 答え：ア 「未」の二度目は「ず」。書き下し「未だ聞かず」。「まだ聞いていない」。

現代語訳 Q44. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 応 憶 ニ
フ

ア まだ思い出していない

イ きっと思い出さだろう

ウ 思い出するのがよい

▶ 答え：イ 「応に憶ふべし」。「応」は「きっと…だろう」。

意味 Q45. 次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選び。

レ 盍 来 ズ
タ
ラ

ア どうして…しないのか

イ まだ…ない

ウ 今にも…しようとする

エ …するのがよい

▶ 答え：ア 「盍」は「なんぞ…ざる」。書き下し「盍ぞ来たらざる」。「どうして来ないのか」。

読み方 Q46. 傍線部「猶」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 猶 星 ホ
ノ

ア なほ

イ まさに

ウ なんぞ

▶ 答え：ア 「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ星のごとし」。「ちょうど星のようだ」。

書き下し Q47. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 宜^{シク}
勉^メ

ア 宜しく勉めんとす

イ 宜しく勉むべし

ウ 宜しく勉めず

▶ 答え：イ 「宜」は「よろしく…べシ」。「努めるのがよい」。

意味 Q48. 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選び。

レ 将^ニ
乱^レ

ア 当然…すべきだ

イ まだ…ない

ウ ちょうど…のようだ

エ 今にも…しようとする

▶ 答え：エ 「将」は「まきニ…ントす」。書き下し「将に乱れんとす」。「今にも乱れようとする」。

現代語訳 Q49. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 未^ダ知^ラ。

ア まだ知らない

イ きっと知っているだろう

ウ どうして知らないのか

▶ 答え：ア 「未だ知らず」。「未」は「まだ…ない」。

読み方 Q50. 傍線部「宜」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 宜^{シク}慎^マ。

ア すべからく

イ よろしく

ウ まさに

▶ 答え：イ 「宜」は一度目「よろしく」、二度目「ベシ」。書き下し「宜しく慎むべし」。「慎むのがよい」。

読み方 Q51. 傍線部「当」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 当^ニ知^ル。

ア んとす

イ ず

ウ べし

▶ 答え：ウ 「当」の二度目は「ベシ」。書き下し「当に知るべし」。「当然知るべきだ」。

意味 Q52. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未^ダ
悟^ラ
。

ア 今にも…しようとする

イ ちょうど…のようだ

ウ ぜひ…する必要がある

エ まだ…ない

▶ 答え：エ 「未だ悟らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ悟っていない」。

書き下し Q53. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 応^ニ
来^{タル}
。

ア 応に来たらず

イ 応に来たるべし

ウ 応に来たらんとす

▶ 答え：イ 「応」は「まさニ…ベシ」。「きっと来るだろう」。

意味 Q54. 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選び。

レ 猶^ホ
鏡^ノ
。

ア まだ…ない

イ ちょうど…のようだ

ウ 当然…すべきだ

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「猶」は「なほ…ごとし」。書き下し「猶ほ鏡のごとし」。「ちょうど鏡のようだ」。

読み方 Q55. 傍線部「盍」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 盍 ゾ
ミ

ア ざる

イ ベシ

ウ ごとし

▶ 答え：ア 「盍」の二度目は「ざる」。書き下し「盍ぞ試みざる」。「どうして試さないのか」。

現代語訳 Q56. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 将 ニ
発 セ

ア まだ出発していない

イ 今にも出発しようとしている

ウ 当然出発すべきだ

▶ 答え：イ 「将に発せんとす」。「将」は「今にも…しようとする」。

意味 Q57. 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選び。

レ 須^{ラク}備^ヘ。

ア ぜひ…する必要がある

イ …するのがよい

ウ まだ…ない

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア 「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく備ふべし」。「ぜひ備える必要がある」。

書き下し Q58. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 猶^ホ花^ノ。

ア 猶ほ花のごとし

イ 猶ほ花なるべし

ウ 猶ほ花たらんとす

▶ 答え：ア 「猶」は「なホ…ごとシ」。「ちょうど花のようだ」。

読み方 Q59. 傍線部「将」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 将^ニ雨^{フラ}。

ア すべからく

イ まさに

ウ なほ

▶ 答え：イ 「将」は一度目「まさニ」、二度目「ントす」。書き下し「将に雨ふらんとす」。「今にも雨が降ろうとする」。

意味 Q60. 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選び。

レ 当 | ニ
励 。 マ

ア ちょうど…のようだ

イ まだ…ない

ウ どうして…しないのか

エ 当然…すべきだ

▶ 答え：エ 「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に励むべし」。「当然励むべきだ」。

読み方 Q61. 傍線部「須」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 須 | ラク
省 。 ミ

ア すべからく

イ よろしく

ウ まさに

▶ 答え：ア 「須」は一度目「すべからく」、二度目「ベシ」。書き下し「須らく省みるべし」。「ぜひ反省する必要がある」。

意味 Q62. 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選び。

レ 応 ン
解 ス
。

ア まだ…ない

イ きっと…だろう

ウ ぜひ…する必要がある

エ 今にも…しようとする

▶ 答え：イ 「応」は「まさニ…ベシ」。書き下し「応に解すべし」。「きっと理解するだろう」。

現代語訳 Q63. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 宜 シ
励 ク
マ
。

ア ぜひ励む必要がある

イ 今にも励もうとする

ウ 励むのがよい

▶ 答え：ウ 「宜しく励むべし」。「宜」は「…するのがよい」。

書き下し Q64. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 未 ダ
熟 セ
。

ア 未だ熟せず

イ 未だ熟すべし

ウ 未だ熟せんとす

▶ 答え：ア 「未」は「いまダ…ず」。「まだ熟していない」。

意味 Q65. 次の漢文の傍線部「盍」の意味として正しいものを選び。

レ 盍 | ゾ
問。 ハ

ア どうして…しないのか

イ まだ…ない

ウ 当然…すべきだ

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア 「盍」は「なんゾ…ぎル」。書き下し「盍ぞ問はざる」。「どうして問わないのか」。

読み方 Q66. 傍線部「猶」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 猶 | ホ
月。 ノ

ア ベシ

イ ズ

ウ ごとし

▶ 答え：ウ 「猶」の二度目は「ごとし」。書き下し「猶ほ月のごとし」。「ちょうど月のようだ」。

意味 Q67. 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選び。

レ 将 〇 ニ
キ

ア まだ…ない

イ ぜひ…する必要がある

ウ 今にも…しようとする

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ウ 「将」は「まさニ…ントす」。書き下し「将に尽きんとす」。「今にも尽きようとする」。

書き下し Q68. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 須 〇 ラ
ク メ

ア 須らく勤めんとす

イ 須らく勤むべし

ウ 須らく勤めず

▶ 答え：イ 「須」は「すべからク…ベシ」。「ぜひ勤める必要がある」。

現代語訳 Q69. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 当 〇 ニ
セ

ア まだ謝罪していない

イ 今にも謝罪しようとする

ウ 当然謝罪すべきだ

▶ 答え：ウ 「当に謝すべし」。「当」は「当然…すべきだ」。

意味 Q70. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未_ダ
帰_ラ
。

ア 今にも…しようとする

イ まだ…ない

ウ …するのがよい

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「未だ帰らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ帰っていない」。

読み方 Q71. 傍線部「応」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 応_ニ
悔_イ
。

ア んとす

イ ベシ

ウ ごとし

▶ 答え：イ 「応」の二度目は「ベシ」。書き下し「応に悔ゆべし」。「きっと後悔するだろう」。

意味 Q72. 次の漢文の傍線部「宜」の意味として正しいものを選び。

レ 宜^{シク}退^ク。

ア ぜひ…する必要がある

イ 今にも…しようとする

ウ まだ…ない

エ …するのがよい

▶ 答え：エ 「宜」は「よろしく…ベシ」。書き下し「宜しく退くべし」。「退くのがよい」。

書き下し Q73. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 将^ニ崩^レ。

ア 将に崩れんとす

イ 将に崩るべし

ウ 将に崩れず

▶ 答え：ア 「将」は「まさニ…ントす」。「今にも崩れようとする」。

現代語訳 Q74. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 由^ホ影^ノ。

ア まだ影ではない

イ ちょうど影のようだ

ウ 影であるべきだ

▶ 答え：イ 「由ほ影のごとし」。「由」は「猶」と同じく「ちょうど…のようだ」。

意味 Q75. 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選び。

レ 須_{ラク} 謹_マ。

ア …するのがよい

イ ちょうど…のようだ

ウ ぜひ…する必要がある

エ まだ…ない

▶ 答え：ウ 「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく謹むべし」。「ぜひ謹む必要がある」。

読み方 Q76. 傍線部「未」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 未_ダ 果_ダ 未_サ。

ア いまだ

イ まさに

ウ よろしく

▶ 答え：ア 「未」は一度目「いまダ」、二度目「ず」。書き下し「未だ果たさず」。「まだ果たしていない」。

意味 Q77. 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選び。

レ 当 | ニ
恥 | ギ
。

ア 当然…すべきだ

イ 今にも…しようとする

ウ まだ…ない

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ア 「当」は「まさニ…ベシ」。書き下し「当に恥づべし」。「当然恥じるべきだ」。

書き下し Q78. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 宜 | シ
避 | ク
。

ア 宜しく避けんとす

イ 宜しく避けず

ウ 宜しく避くべし

▶ 答え：ウ 「宜」は「よろしく…ベシ」。「避けるのがよい」。

現代語訳 Q79. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 盍 | ゾ
改 | メ
。

ア どうして改めないのか

イ まだ改めていない

ウ 改めるのがよい

▶ 答え：ア 「盃ぞ改めざる」。「盃」は「どうして…しないのか」。

意味 Q80. 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選び。

レ 猶 | ホ
火 | ノ
。

ア まだ…ない

イ ぜひ…する必要がある

ウ 今にも…しようとする

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：エ 「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ火のごとし」。「ちょうど火のようだ」。

現代語訳 Q81. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 未 | ダ
嘗 | テ
敗 | レ
。

ア 今にも負けようとしている

イ 負けるにちがいない

ウ 今まで一度も負けたことがない

▶ 答え：ウ 「未だ嘗て敗れず」。「未だ嘗て…ず」で「今まで一度も…ない」。最頻出。

意味 Q82. 次の漢文の傍線部「将」の意味として正しいものを選び。

鳥将死
レ ニ
死 セ
。

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ 当然…すべきだ

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：イ 「鳥将に死せんとす」。「将」は「今にも…しようとする」。

読み方 Q83. 傍線部「当」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

当雪恥
レ ニ
雪 グ
恥 フ
。

ア すべからく

イ まさに

ウ よろしく

▶ 答え：イ 「当」は一度目「まさに」、二度目「ベシ」。書き下し「当に恥を雪ぐべし」。「当然恥をすすぐべきだ」。

書き下し Q84. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 須^{ラク}惜^シ陰^ヲ。

ア 須らく陰を惜しまんとす

イ 須らく陰を惜しまず

ウ 須らく陰を惜しむべし

▶ 答え：ウ 「須」は「すべからク…ベシ」。書き下し「須らく寸陰を惜しむべし」。「ぜひ時間を惜しむ必要がある」。

意味 Q85. 次の漢文の傍線部「猶」の意味として正しいものを選べ。

レ 過^{グル}猶^ハ不^ホ及^ノ。

ア ちょうど…のようだ

イ まだ…ない

ウ 当然…すべきだ

エ どうして…しないのか

▶ 答え：ア 「過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし」。「猶」は「ちょうど…のようだ」。やり過ぎは足りないのと同じ、の意。

現代語訳 Q86. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選べ。

レ 応 憐 ニ ム

ア まだ気の毒に思っていない

イ きっと気の毒に思うだろう

ウ 気の毒に思うのがよい

▶ 答え：イ 「応に憐むべし」。「応」は「きっと…だろう」。

読み方 Q87. 傍線部「盍」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 盍 反 求 ズ リ テ メ

ア まさに

イ なほ

ウ なんぞ

▶ 答え：ウ 「盍」は一度目「なんぞ」、二度目「ざる」。書き下し「盍ぞ反りて求めざる」。「どうして反省して求めないのか」。

書き下し Q88. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 当 立 身 ニ テ フ

ア 当に身を立つべし

イ 当に身を立てんとす

ウ 当に身を立てず

▶ 答え：ア 「当」は「まさニ…ベシ」。「当然身を立てるべきだ」。

意味 Q89. 次の漢文の傍線部「未」の意味として正しいものを選び。

レ 未^ダ
知^ラ
生^ヲ。

ア まだ…ない

イ 今にも…しようとする

ウ ちょうど…のようだ

エ ぜひ…する必要がある

▶ 答え：ア 「未だ生を知らず」。「未」は「まだ…ない」。「まだ生を知らない」。

現代語訳 Q90. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 宜^{シク}
従^ハ
衆^ニ。

ア ぜひみなに従う必要がある

イ 今にもみなに従おうとする

ウ みなに従うのがよい

▶ 答え：ウ 「宜しく衆に従ふべし」。「宜」は「…するのがよい」。

読み方 Q91. 傍線部「将」の二度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 国 将 亡。 ニ ビ

ア んとす

イ ベし

ウ ず

▶ 答え：ア 「将」の二度目は「(せ)ントす」。書き下し「国将に亡びんとす」。「国が今にも滅びようとする」。

意味 Q92. 次の漢文の傍線部「須」の意味として正しいものを選べ。

レ 人 須 立 志。 ラ ク タ フ

ア …するのがよい

イ まだ…ない

ウ ちょうど…のようだ

エ ぜひ…する必要がある

▶ 答え：エ 「人須らく志を立つべし」。「須」は「ぜひ…する必要がある」。

書き下し Q93. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選べ。

レ 猶^ホ父^ノ子。

ア 猶ほ父子なるべし

イ 猶ほ父子たらんとす

ウ 猶ほ父子のごとし

▶ 答え：ウ 「猶」は「なホ…ごとシ」。書き下し「猶ほ父子のごとし」。「ちょうど父と子のようだ」。

現代語訳 Q94. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

レ 未^ダ聞^カ道^ヲ。

ア まだ道を聞いていない

イ 今にも道を聞こうとする

ウ きっと道を聞くだらう

▶ 答え：ア 「未だ道を聞かず」。「未」は「まだ…ない」。

意味 Q95. 次の漢文の傍線部「当」の意味として正しいものを選び。

レ 当^ニ報^イ国^ニ。

ア 今にも…しようとする

イ まだ…ない

ウ 当然…すべきだ

エ ちょうど…のようだ

▶ 答え：ウ 「当に国に報ゆべし」。「当」は「当然…すべきだ」。

読み方 Q96. 傍線部「猶」の一度目の読みを、ひらがなで書いたものを選び。

レ 猶魚水。
ホ
ノ
ヲ

ア まさに

イ なんぞ

ウ なほ

▶ 答え：ウ 「猶」は一度目「なホ」、二度目「ごとシ」。書き下し「猶ほ魚の水を得るがごとし」。「ちょうど魚が水を得たようだ」。

書き下し Q97. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

レ 盍各言。
ホ
ゾ
オ
ノ
ハ

ア 盍ぞ各々言はざる

イ 盍ぞ各々言ふべし

ウ 盍ぞ各々言はんとす

▶ 答え：ア 「盍」は「なんゾ…ざる」。書き下し「盍ぞ各々言はざる」。「どうしてそれぞれ言わないのか」。

意味 Q98. 次の漢文の傍線部「応」の意味として正しいものを選び。

故郷
応
知。

レ ニ
ル

ア まだ…ない

イ きっと…だろう

ウ ぜひ…する必要がある

エ どうして…しないのか

▶ 答え：イ 「故郷応に知るべし」。「応」は「きっと…だろう」。

現代語訳 Q99. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを選び。

將
傾。

レ ニ
カ

ア まだ傾いていない

イ 当然傾くべきだ

ウ 今にも傾こうとしている

▶ 答え：ウ 「將に傾かんとす」。「將」は「今にも…しようとする」。

書き下し Q100. 次の漢文の書き下し文として正しいものを選び。

未
至
半。

レ ダ
ラ
ニ

ア 未だ半ばに至らず

イ 未だ半ばに至るべし

ウ 未だ半ばに至らんとす

▶ 答え：ア 「未」は「いまダ…ず」。書き下し「未だ半ばに至らず」。「まだ半分にも達していない」。

採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	/20
第2部 標準	30	/30
第3部 応用	30	/30
第4部 入試	20	/20
合計	100	/100

まちがえた問題は、次の2点にもどって確認しましょう。

1. 一度目と二度目の読みをセットで覚える。未（いまだ→ず）／将・且（まさに→んとす）／当・応（まさに→べし）／須（すべからく→べし）／宜（よろしく→べし）／猶・由（なほ→ごとし）／盍（なんぞ→ざる）。
2. 「べし」で結ぶ3グループ（当応・須・宜）は、一度目の読みで見分ける。まさに＝当応、すべからく＝須、よろしく＝宜。